

国立大学法人 山口大学
令和6年度 物品・役務等契約監視委員会 議事概要

第1回 物品・役務等契約監視委員会

1. 開催日時 令和6年11月14日(木) 13:24 ~ 15:20
2. 開催場所 国立大学法人 山口大学 事務局2号館 第2会議室
3. 出席委員 福田進(常勤監事)、木村葉子(非常勤監事)、豊嶋和博(元山口県会計管理局长)
4. 議案1 委員長の選定
互選により、福田氏(本学常勤監事)を委員長とする
5. 議案2 委員長代行者の指名
委員長の指名により、木村氏(本学非常勤監事)を委員長代行者とする
6. 議案3 個別案件の論点整理(協議事項)

第2回 物品・役務等契約監視委員会

1. 開催日時 令和6年11月15日(金) 13:22 ~ 16:06
2. 開催場所 国立大学法人 山口大学 事務局2号館 第2会議室
3. 出席委員 福田進(常勤監事)、木村葉子(非常勤監事)、豊嶋和博(元山口県会計管理局长)
4. 議案1 個別案件審査(審議事項)

審査対象期間 : 令和5年4月~令和6年3月
審査対象案件 : 9件(一般競争入札5件、随意契約4件)
質疑応答 : 別紙に記載

【 審査結果の総評 】

物品・役務等契約監視委員会は、物品・役務等契約監視委員会要項に従い、令和5年度の契約を対象に審査を実施しましたが、重要な点において、指摘すべき事項はありません。

物品・役務等契約監視委員会による意見

主要な対応課題として、次の事項に取り組むことを期待する。

- ① 本学は、平成23年に「一者応札・応募に係る改善方策について」を公表し、5つの改善方策を示しており、この改善方策に基づく具体的な取組を推進することが重要である。
- ② 競争入札においては、物品・役務等の特性を踏まえ、積極的に総合評価落札方式やプロポーザル方式を採用し、機能・性能・コスト等の多様な観点から総合的な検討・判断を行い、より適切な調達を実現することが重要である。

以上

質問・意見等	回答
(1) リサイクル PPC 用紙 【一般競争入札】 (財務部契約課)	
<p>① 共同購入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件は、共同調達の場合であるが、その点で具体的に考慮した点はあるのか。 <p>② 一者入札回避の努力について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PPC 用紙については、多くの取扱業者が存在するが、一者応札となった原因等をどのように考えているのか。 ・広く業者からの応札を促す努力・工夫はしたのか。 <p>③ 予定価格について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格を相当に下回る(約 85%)落札であったことについて、どのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同調達を始めた趣旨として、スケールメリットを生かした経費削減並びに契約事務を5大学の持ち回りで行うことによる契約事務の効率化であり、それらの観点を考慮した。 ・中国地区の5大学に配達することになるので、山口県にある業者では難しいと考えた。 ・正直なところ出来ていないが、一者応札改善に向けて地元の業者の市場調査を行う。 ・参考見積を取ったうえで、紙の価格だけでなく配送価格等(物価上昇も考慮)を含めた予想価格を積算しているので、適正な価格と考えている。
(2) 授業料免除システム及び授業料免除学生申込システム 【一般競争入札】 (財務部契約課)	
<p>① 入札について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムの導入を物品調達で行うことに違和感があり、なぜ、総合評価方式やプロポーザル方式を採用しなかったのか。 ・参考見積価格が、予算額を超えていたので一回目の入札は、不調となることが予想されたのではないか。なのに、入札を実施した意図は何か。 ・二回目の入札の際、落札業者からの見積書が増額となっている理由は何か。 <p>② 一者応札について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一者応札となった原因等をどのように考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書を満たすシステムがあれば調達目的を実現できるという理解で一般競争・物品調達したものである。 ・不調になる前提で入札をしたのではなく、予定価格より低廉な金額での入札を期待した。 ・スケジュールの見直しに伴い、SEを新たに確保するため価格が上昇したと業者から聞いている。 ・1回目の公告の際、二者が仕様書を取りにきているが、仕様書の内容を確認した段階で、

	一者が対応不能と判断し入札を辞退した。
(3) 大学業務運用クラウドシステム 一式 【一般競争契約】	
(財務部契約課)	
<p>① 入札について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何故、総合評価方式、プロポーザル方式を採用しなかったのか。物品調達がゆえに、当初からフルライセンス数の契約となり、無駄なコスト負担になっている。 <p>② 仕様策定委員会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様策定委員会議事録では、委員会による市場調査と検討が行われた形跡がないが、どうだったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約部署としては何故、総合評価方式、プロポーザル方式を採用しなかったのか承知していない。 ・仕様策定委員会の資料には、色々なメーカーの仕様を比較している資料があった。
(4) 超音波内視鏡システム 一式 ・ 内視鏡シンク恒温槽ユニット 【一般競争入札】	
(医学部管理運営課)	
<ul style="list-style-type: none"> ・超音波内視鏡システム及び内視鏡シンク恒温槽ユニットは関連する物品でありながら、別々に入札が行われている。一括で入札をおこなわなかった理由は何か。(同一業者による一者入札、同一契約締結日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・超音波内視鏡システム及び内視鏡シンク恒温槽ユニットは関連する物品でなく、全くの別案件である。
(5) ロボット手術支援システム 一式 【随意契約】	
(医学部管理運営課)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ダヴィンチは有名な(独占的な)システムであるが、基本的な特許の期限が切れたことで、最近では複数の業者が参入し、シェアも拡大しつつあり、他機種との比較検討は行ったのか。理由書では、保険適用の範囲、2人同時施術を理由としているが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当時機種を選定候補として、ダヴィンチと株式会社メディカロイドのヒノトリがあり、両システムの比較検討を行った。最初に保険請求の観点で検討したところ、ダヴィンチが33式、ヒノトリは7式しか対応出来ていなく病院経営の観点から考えるとダヴィンチの方が有利であった。次に教育的効果の観点で検討したところ、ダヴィンチについては同時に2名の医師による手術が出来ること、一方、ヒノトリは、同時に術野は確認することが出来るものの、1名しか手術が出来ない機能的な差があり、これらを重く見てダヴィンチを選定した。

(6) 医療材料等に係る院内物流管理・運營業務 一式 【一般競争入札】

(医学部管理運営課)

① 入札について

・入札資格の設定根拠は合理的なものか。(過去5年間に400床以上など,排他的な仕様にも感じられる)

・予定価格の決定根拠は妥当なものか。

・事前の調査・検討にあたっては,公正性・無差別性を確保した情報収集を行ったか。(複数事業者からの情報収集など,県内にも対応可能事業者の存在を確認)

・入札説明会でなく,書面での質問受付となっているが,実績は。

・当該業務は,院内医療材料の在庫管理,消費管理,品質管理,滅菌管理など医療材料のすべてを担うものであり,特に,手術室において手術のために医療材料を取り揃えるなど専門的な知識を要求する業務である。そのため,当院の要求に応えるためには,手術室での知見を有する者であることが必要である。また,診療報酬制度における大病院の定義が400床以上とされており,大病院であれば当院と同程度の緊急用の手術室を有している例が多いと考えられることから,400床以上の病院での業務経験を受注者に求める条件として設定した。業務経験3年以上という条件を付している根拠は,今回3年契約を行う仕様書であり,3年間の業務を履行できることを確認するために当該条件を付している。

・院内物流管理(SPD業務)の業種が導入されたのが十数年前で,比較的新しい業種であり,それまでは看護師・看護助手によりSPD業務を担っていた。今回,積算を行う過程でSPD業務を行っている人員の単価実績が市場に公開されていなかったため,元々直接実施していた時の看護師・看護助手の単価を基に積算したものである。

・結果として一者応札になったが,以前,違う会社が業務を行っており,当然その会社にも声掛けは行ったが,その会社が近隣の倉庫を閉鎖したため,当該業務を担うことが出来なくなった旨回答があったこと,実際に入札説明書を複数の業者が取りにきていることから,公平性は確保していると考えている。

・同一業者から,参加資格と手術件数について2件の質問があった。当該業者は,資格外のため応札はしなかった。

<p>②一者応札について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一者応札となった原因等をどのように考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業者にヒアリングしたところ、大量の医療材料を処理するため、倉庫を院外に持っていないと業務が難しいと聞いており、また、業務の効率面から近隣の業者でないと難しく、こうした点から新規参入が難しい業種であると考えている。
--	---

(7) 血管撮影装置 X線管球 【随意契約】 (医学部管理運営課)

<p>①随意契約とする理由について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随意契約とする理由が相違しているのではないか。 <p>「緊急」(第14条第1項7号)ではなく「交換部品」(第14条第1項3号)を適用することが相当ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第14条第1項3号では、「既調達物品等の調達の相手方以外の者から調達をしたならば既調達物品等の使用に著しい支障を生じるおそれがあるとき」となっており、機械そのものはリース会社から調達していて、交換部品の調達業者とは別の業者になることから、当該条項号は適用出来ないのではないかと考えていること、部品の交換について、ある一定期間での交換であれば予見できるが、今回の交換については急な故障であることから、我々としては予見し難いものであると考えている。
--	---

(8) 血液ガス分析装置 ABL800 FLEX ラジオメーター 【随意契約】 (医学部管理運営課)

<p>①契約について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一物品が、短期間に2回、随意契約とされ、合算すれば500万円を上回る。最初の調達時に、次回の調達予定も把握していたのではないか。 ・短期間に2回となった合理性を説明願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術部で使用する血液検査装置であり、手術部には数台設置されている。1台目(1番古い装置ではなく2番目に古い装置)については故障に伴い緊急的に調達した案件であった。2台目の調達については、元々1番古い装置であり更新予定の計画の中に候補としては挙がっていた装置ではあったが、時期的に予算の決定が出来ないことから、1台目の調達時に同時に購入できなかったものである。
---	--

(9) 山口大学常盤地区で使用するガス 一式

【随意契約】

(工学部会計課)

・ガスの調達について、会計検査院の指摘を認識しているか。会計検査院の指摘を踏まえ、本件をどう合理的に説明するのか。

・随意契約とする理由として、第14条第1項第2号を適用しているが、ガスの調達は役務でなく物品(産品)ではないか。

・ガスの調達については、吉田地区や小串地区と同じと思うが、我々も常に市場調査を行っており、山口県内において、本学工学部までのガス導管を有しているのは、山口合同ガス株式会社のみであること、山口合同ガス株式会社のガス導管を使用して新規参入する場合は、山口合同ガス株式会社と契約を結ぶ必要があるが、今のところそのような申請はなく、一般競争入札を行っても応札者いない旨山口合同ガス株式会社から聞いている。また、随意契約を行うという行為をしつつ、落札後もこの金額で契約をしましたと公開している。なお、県内の他の公的機関においてもほぼ随意契約により行っていることを確認している。

・WTO協定書には、ガスは明確に物品と書かれてあったので、今後はそのような認識にする。